施策等名称	良質な居住環境を維持できる住まいづくり	体系番号	0501010702
旭 東守石怀	及員な店は環境を維持できる住まいってり	主管課	都市計画課

1)	施策	基	本情報								
				・持ち家率か	く非常に高いも	犬況で、既存ストックの	有効活用、安全性	確保や環境への配	慮が必要となっ	ています。	
	18 A	と調	3 BZ								
	ジェン		下 起								
						とかな住まいづくりをめ に使い、「安全で安心な		まとして活用していき	· + +		
	めざる			・生活環境や	がを及べ入め	を備し、まち並みや景	見が美しいまち、市	5民が愛着と誇りを打	きった住みよい住 きった住みよい住	主まいづくりをも	かざし
(80*		= 安、 きえフ	、基本的 方)	ます。							
				指標名称		Ħ	標の説明(単位)		計画策定時	2022年度目 2027年度目	
施策	1	リフ	オーム実	施戸数の割れ	 }	H25宅地·土地統計訓			29.50	35.00 40.00	
指	2	件写	名団地販			GHV残区画94+旭ヶ	丘残区画10から、	販売したものを除	104.00	50.00	
標			о рачели.			いた残区画数			101.00	0.00	
	3	夕									
		名称	住宅ス	トックの良質	lt en			主管課	都	市計画課	
		詳			宅の質の向上	- を誘導し、良好な住宅	₿の普及を促進す。	るとともに、リフォー・	ムによる既存住	宅の機能向上	を推進
		細	します。								
		ŧ	まちづくり (の目標指標	指標	の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する	主要事務事業	区分
	施策の	П.	174_/	中体言数の				35.00	1 建築確認申	請関連事務	実施
		1	割合	実施戸数の	H25宅地·土	地統計調査による	29.50	40.00	2 住宅リフォー	-	実施
	柱 1							10.00	3 民間建築物策事業		実施
		2									天心
									4		
		3							5		
									6		
		名	本政策間連		z et			A 44-20	dan		
		称	快適な居住環境の形成 主管課								
								主管課	和	市計画課	
		詳細		売する住宅団		ī営住宅跡地の販売を	通じて、快適な居			市計画課	
		紐		売する住宅団		7営住宅跡地の販売を	通じて、快適な居	住環境の形成を図り	Jます。		
11-	44	細	п Сях	売する住宅団 D目標指標	地の販売、市	の説明(単位)	通じて、快適な居 計画策定時				区分
施策	施策	細	まちづくりの	り目標指標	地の販売、市 指標 GHV残区画	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10	計画策定時	住環境の形成を図り	Jます。	主要事務事業	区分
策の	策の	細	п Сях	り目標指標	地の販売、市 指標 GHV残区画	の説明(単位)		住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値	はを構成する	主要事務事業	
施策の体系	策	細	まちづくりの	り目標指標	計地の販売、市 指標 GHV残区画 から、販売し	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10	計画策定時	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00	注す。 柱を構成する3 1 住宅団地販	主要事務事業	実施
策の	策の柱	細	まちづくりの	り目標指標	計地の販売、市 指標 GHV残区画 から、販売し	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10	計画策定時	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00	 柱を構成する 1 住宅団地販 2 公営住宅用 3	主要事務事業	実施
策の	策の柱	和 1 化	まちづくりの	り目標指標	計地の販売、市 指標 GHV残区画 から、販売し	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10	計画策定時	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00	柱を構成する3 1 住宅団地販 2 公営住宅用 3	主要事務事業	実施
策の	策の柱	和 1 化	まちづくりの	り目標指標	計地の販売、市 指標 GHV残区画 から、販売し	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10	計画策定時	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00	柱を構成する	主要事務事業	実施
策の	策の柱	1 化2	住宅団地	D目標指標 販売残数	計地の販売、市 指標 GHV残区画 から、販売し	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10	計画策定時	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00	柱を構成する3 1 住宅団地販 2 公営住宅用 3	主要事務事業	実施
策の	策の柱	1 1 2 3 基本	ドキョウ で成だ にちづくりの 住宅団地 ・ 本政策間連	D目標指標 販売残数	計地の販売、市 指標 GHV残区画 から、販売し	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10	計画策定時	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00	柱を構成する	主要事務事業	実施
策の	策の柱	和 ま 1 化 2 3 基本名称	まちづくりの 住宅団地 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	D目標指標 販売残数	出地の販売、市 指標 GHV残区画 から、販売し	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10	計画策定時	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00	柱を構成する	主要事務事業	実施
策の	策の柱	1 1 2 3 基本	まちづくりの 住宅団地 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	D目標指標 販売残数	出地の販売、市 指標 GHV残区画 から、販売し	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10	計画策定時	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00	柱を構成する	主要事務事業	実施
策の	策の柱	和 3 基名称 詳細	まめ 策間連	D目標指標 販売残数	指標 GHV残区画 から、販売し 画数	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10 たものを除いた残区	104.00	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00 0.00	柱を構成する3 1 住宅団地販 2 公営住宅用 3 4 5 6	主要事務事業 売促進事業 地活用事業	実施
策の	策の柱2	和 3 基名称 詳細	まめ 策間連	D目標指標 販売残数	指標 GHV残区画 から、販売し 画数	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10	計画策定時	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00	柱を構成する 1 住宅団地版 2 公営住宅用 3 4 5 6	主要事務事業 売促進事業 地活用事業	実施
策の	策の柱2 施策	和 ま 1 1 2 3 基本名称 詳細 ま	まめ 策間連	D目標指標 販売残数	指標 GHV残区画 から、販売し 画数	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10 たものを除いた残区	104.00	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00 0.00	柱を構成する3 1 住宅団地販 2 公営住宅用 3 4 5 6	主要事務事業 売促進事業 地活用事業	実施
策の	策の柱 2 施策の柱	和 3 基名称 詳細	まめ 策間連	D目標指標 販売残数	指標 GHV残区画 から、販売し 画数	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10 たものを除いた残区	104.00	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00 0.00	柱を構成する 1 住宅団地版 2 公営住宅用 3 4 5 6	主要事務事業 売促進事業 地活用事業	実施
策の	策の柱2 施策の	和 ま 1 (2 3 基本名称 詳細 ま 1	まめ 策間連	D目標指標 販売残数	指標 GHV残区画 から、販売し 画数	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10 たものを除いた残区	104.00	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00 0.00	柱を構成する 1 住宅団地販 2 公営住宅用 3 4 5 6 6	主要事務事業 売促進事業 地活用事業	実施
策の	策の柱 2 施策の柱	和 ま 1 1 2 3 基本名称 詳細 ま	まめ 策間連	D目標指標 販売残数	指標 GHV残区画 から、販売し 画数	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10 たものを除いた残区	104.00	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00 0.00	柱を構成する 1 住宅団地販 2 公営住宅用 3 4 5 6	主要事務事業 売促進事業 地活用事業	実施
策の	策の柱 2 施策の柱	和 ま 1 2 3 基名称 詳細 ま 1 2	まめ 策間連	D目標指標 販売残数	指標 GHV残区画 から、販売し 画数	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10 たものを除いた残区	104.00	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00 0.00	柱を構成する 1 住宅団地販 2 公営住宅用 3	主要事務事業 売促進事業 地活用事業	実施
策の	策の柱 2 施策の柱	和 ま 1 (2 3 基本名称 詳細 ま 1	まめ 策間連	D目標指標 販売残数	指標 GHV残区画 から、販売し 画数	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10 たものを除いた残区	104.00	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00 0.00	柱を構成する 1 住宅団地販 2 公営住宅用 3 4 5 6 1 2 3 4 5 5 6 1 2 3 4 5 5 6 1 2 3 4 5 5 6 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7	主要事務事業 売促進事業 地活用事業	実施
策の	策の柱 2 施策の柱	和 ま 1 2 3 基名称 詳細 ま 1 2 3	まめ 策間連	D目標指標 販売残数 携 D目標指標	指標 GHV残区画 から、販売し 画数	の説明(単位) 94+旭ヶ丘残区画10 たものを除いた残区	104.00	住環境の形成を図り 2022年度目標値 2027年度目標値 50.00 0.00	柱を構成する 1 住宅団地販 2 公営住宅用 3 4 5 6 6	主要事務事業 売促進事業 地活用事業	実施

施策等名称	良質な居住環境を維持できる住まいづくり	体系番号	0501010702
爬来守石你	及員は后江県現で維持できる江まいしてり	主管課	都市計画課

2 指標等の推移と変動要因

	<u>扫偿寺の</u> 本系区分)推移と変動要因	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度				
	キボムガ 指標No.	成果指標名	中間目標値	2010年及		達成率(実績値		2022年及				
	施策		29.50									
	1	リフォーム実施戸数の割合	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	2018年度	度 (H30住宅・土地統計調査結果の公表を待って記入 R1.9月)										
変	2019年度											
動	2020年度											
要因等												
ਚ	2021年度											
	2022年度		104.00	00.00	01.00	04.00						
	施策 2	住宅団地販売残数	104.00 50.00	99.00	81.00 162.00	64.00 128.00	0.00	0.00				
		2018年3月の価格改定により、11区画(計画)				12000	0.00					
変		8区画(賃借権買取1件含むと9区画)販売										
動要因		17区画販売。										
因等		T/ELEIMOJC.										
च	2021年度											
	2022年度											
	<u>柱</u> 1 1	リフォーム実施戸数の割合	29.50 35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	2018年度	(H30住宅・土地統計調査結果の公表を待って		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		(1100년七-工地紀日間直和末の五次を行う)										
変動	2019年度											
要因	2020年度											
等	2021年度											
	2022年度											
	柱2	住宅団地販売残数	104.00	99.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	1		50.00	198.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	2018年度											
変動	2019年度											
変動要因等	2020年度											
等	2021年度											
	2022年度											
				WB.R.4 (CI	# P# / / / / /	#P# / /O	WB B 4 (0)	#BB 4 /64				
	0010年中			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
	2018年度											
変動	2019年度											
変動要因等	2020年度											
等	2021年度											
	2022年度			T			Т					
				#DIV/0!	#DN//01	#DIV/0!	#D#/ /OI	#DIV/0!				
				#D14/U!	#DIV/0!	#DIV/U!	#DIV/0!	#UIV/U!				
	2018年度											
亦	2018年度											
変動	2019年度											
変動要因は	2019年度											
変動要因等	2019年度											

施策等名称 良質な居住環境を維持できる住まいづくり 体系番号 0501010702 主管課 都市計画課

3 評価・改革改善(単位:円)

		٦٨-	<u> 革改善</u>									1	<u> (位:円)</u>
	項目			目 2018年(前年度比) 2019年(前年度比)				2020年 (前年度比) 2021年 (前年度比)			F度比)	2022年	(前年度比)
		事	業費 (円)	24,285,144		27,232,000	1.12	26,920,904	0.99	24,040,000	0.89		
		うち	一財(円)	24,285,144		27,232,000	1.12	26,920,904	0.99	24,040,000	0.89		
	投資額	(一 前 ⁴ ±1 上(減理由 ・般財源 年度以場 10%場 の 記載)			GHV販促費用の	增						
	道	進捗評価		おおむねル	頂調	おおむね順	調	順調					
評価	総		主な取組内容や成果	・GHV価格改定 庁内販売促進会 る検討を重ね、 促進された。 →計画策定時点 画売却 ・リフォーム補助 数141件	会議によ 販売が 気から5区	・GHV価格改定を 庁内販売促進会 る検討を重ね、則 促進された。 →8区画(賃借権 件含むと9区画・ ・リフォーム補助 数150件	議によ 反売が 売却1 記却)	・令和2年10月か 推進庁内連絡会により、た後はより、に向けた機関では、 ・コローナ福の全はのでは、 ・コロースをでは、 ・コロースをできる。 ・コフェースをできる。 ・リフォースをできる。 ・リフォースをできる。 ・リフォースをできる。 ・サースをできる。 ・カー、 ・カー、 ・カー、 ・カー、 ・カー、 ・カー、 ・カー、 ・カー、	議発足 売促た。 連的な移 れを取り な広告				
	合評価		課題	• GHVの一層の 進 • リフォーム補助 必要性検討、リ ル	制度の	• GHVの一層の則進 ・リフォーム補助 必要性検討		・GHVの販売促設・リフォーム補助必要性を検討					
改革		改革	5 • 内容	・GHV販売促進に 会議協庁外間での会社の 会議協庁外諸の日本を 見もなった。 リフト・リストを は、市外の に、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	に加え、 一加え、 一加を はいままで はいままで はいままで はいままで にいまます。 はいまままでも にいままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいままままます。 はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	・GHV販売促進に会議での方針に完建協での方針に完建協会や地元なり、庁り入れで、効なフォーンを持て、対して、対して、対して、対して、対して、大学のでは、空中では、空中では、空中では、空中では、空中では、空中では、空中では、空中	加自なようなはです。 は、会 は、会 は、会 は、会 でして、 にて、 でして、 にて、 にて、 にて、 にて、 にて、 にて、 にて、 に	・GHV販売促進に会議での意見に定した。 会議での会や地元に見た。 見を参明なたり効果する一、は がサインに販売が表する。 ・リ年中段階にしたが、 年のである。 は りた。 は りた。 は りた。 は りた。 は りた。 は りた。 は りた。 は りた。 は りた。 は りた。 は り は り は り は り は り は り は り は り は り は	加倉本が方 制、を、、た治意よを は度化助				
•			化する	2		2		2					
改善	施	施策の柱		1		1		1					
1	漁策の柱等の重点化	理	§事業 ! 由	・GHV販売は土公社の負債返別市の貴重な財源あるため。 ・また、住宅団はは人口増につなめ。	きであり、 原確保で 地の販売	・GHV販売は土地公社の負債返済 市の負重な財源 あるため。 ・また、住宅団地は人口増につない。	であり、 確保で の販売	・GHV販売は土土公公社の負債返済 市の負重な財源 あるため。 ・また、住宅団地は人口増につなめ。	であり、 確保で !の販売				

作成担当者	矢嶋浩行	土岐篤広	土岐篤広	
最終評価責任者	篠原尚一	篠原尚一	篠原尚一	
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月7日	2021年5月21日	